

会報

冬
No.160

2013.1

社団法人北海道電業協会



目 次

年頭ごあいさつ	
.....北海道開発局 営繕部長 内野井 宗 哉	1
平成25年の新春を迎えて	
.....(社)北海道電業協会 会長 吉 川 照 一	2
法人職務執行者就任ご挨拶	
浅海電気(株)札幌支店 執行役員支店長 松 澤 祥 二	3
(株)日鉄エレックス札幌支店 支店長 神 谷 眞	3
新春特集	
「バスケットボールに賭ける飽くなき挑戦」	4～8
一般社団法人 北海道総合スポーツクラブ理事長 兼 レバンガ北海道選手 折茂 武彦氏と語る	
平成24年度経営者懇談会・セミナー	9
平成24年度経営者懇談会	10
平成24年度登録電気工事基幹技能者認定講習会	11
ーシリーズー 1/212だより	
工場だけじゃないんだ！意外な魅力があふれるまち～室蘭～	
.....室蘭市長 青 山 剛	12～13
未来に残したい美しい丘のまち～美瑛町～	
.....美瑛町長 浜 田 哲	14～15
平成24年度「公共建築の日」イベント	16
安全衛生パトロール実施報告	17
現場からこんにちは	18
分離発注訪問記	19
厚生委員会行事報告 歌唱部会	20
ボウリング部会	21
ゴルフ部会	22
ーシリーズー 「私のいちおし」	
東邦電気工業(株)北海道支店 営業Gマネージャー 和 田 隆 幸	23
ーシリーズー 「ビジネスマンはこれを読め！」	
(株)久住書房 社長 久 住 邦 晴	24
業界だより、理事会・委員会報告	25～27
事務局日誌	28
編集後記	



年頭ごあいさつ

北海道開発局

営繕部長 内野井 宗 哉

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、国土交通省における北海道開発行政並びに官庁営繕行政の推進にあたり、平素よりご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

北海道開発局営繕部では、道内に所在する官庁施設（国の建築物）の整備と、これら官庁施設が常に適正な機能・性能を維持できるよう国の出先機関に対し保全指導を行うなど官庁施設に関する指導・監督を行っております。老朽化した施設が増大していく中、既存施設の有効活用を図りつつ緊急性の高いものから重点的・効率的な整備を進め、災害に対する安全・安心の確保等に適切に対応することが重要となっています。

特に、東日本大震災における官庁施設の津波被害や「津波対策の推進に関する法律」を踏まえ、津波襲来時における防災拠点としての機能維持と行政機能の早期回復を図るとともに、一時的な避難場所の確保による人命の救済に資するため、官庁施設における津波対策を総合的かつ効果的に推進する必要があります。

また、危険箇所の解消に重点をおいた修繕や改修工事を進めるなど、安全・安心の確保、地球環境問題への対応を主な柱とし、あわせてユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、すべての人に使いやすい高度なバリアフリー化を率先して取り入

れた整備を引き続き進めて参ります。

工事の発注にあたっては、従来の方式に加え、新たな総合評価落札方式による試行を行い、書類の簡素化など入札参加者の負担軽減に取り組むとともに、施工にあたっては、受注者と連携をとりながら施工品質の確保に取り組んでおります。

適正な保全の実施については、保全実態調査の結果に基づき、施設が良好な状態に保たれるよう、各省庁の施設管理者の方々に技術的な指導・助言を行っております。北海道においては、電力需給の逼迫から、特に冬期における節電の取組が求められており、昨年11月に開催した北海道官庁施設等地球温暖化対策連絡会議において、節電をテーマに取り上げ情報共有を行ったところですが、喫緊の課題である施設全体のエネルギー使用の削減についても、建築設備の効率的な運用なども含めた取組の指導を一層進めていきたいと考えております。

最後になりますが、北海道開発局においては引き続きコンプライアンスの徹底に向けて取り組んでおりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、北海道の将来にとって希望の年となりますよう祈念するとともに、皆様のさらなるご発展とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。



平成25年の新春を迎えて

社団法人 北海道電業協会

会長 吉川 照一

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、何かと厳しい時代環境下ではありますが、ご家族お揃いで新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、道内では夏季のみならず冬季も節電を要請され、道産品輸出や観光業に尖閣問題の影響が及ぶなどの問題がありました。念願の北海道新幹線札幌延長の正式決定や北海道日本ハムファイターズが見事リーグ制覇を成し遂げるなどの明るい話題に元気づけられた1年であったと思います。

こうした中で日本経済は、東日本大震災からの復興需要によって景気の下支えがあったものの、世界経済の減速を背景に長期化する円高とデフレの悪循環、さらには原子力発電所の長期停止によるエネルギーコストの高騰などの影響から足元の景気は弱い動きとなり、設備投資や個人消費の低迷によって企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。景気が一刻も早く回復に向かってくれることを期待しますが、先行きについては予断を許さない状況にあります。

こうした経済状況の中で、私共電気設備工事業界はリーマンショック以降、建設投資の急激かつ大幅な減少によって市場が縮小し、受注と価格の熾烈な競争によって大変厳しい状況が続いておりますが、東日本大震災を契機に防災対策や省エネルギー対策の促進のほか、昨年7月の再生可能エネルギー買取制度の整備により、道内においても

メガソーラー建設計画の急増やスマートコミュニティの構築に向けた動きがあるなど、従来とはその環境に多少変化もみられます。

申し上げるまでもなく、電気設備工事業界は、電気設備の設置とその保守管理等を通じて国民生活や経済活動に直結するライフラインを担い、顧客に対しては良質な設備を提供するという重大な使命があります。

当協会がその使命を全うする上で「優秀な人材の確保と技術・技能の適確な継承」、「適正な価格と適正な工期で受注を確保し、健全で公正な競争市場を構築」、「工事の品質と価格の透明性を確保し、顧客に高品質の工事を提供する分離発注の推進」、「高度な技術と品質で省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に貢献」を活動目標に会員一人ひとりが今、大きな時代の転換期にいることを認識し、技術・技能の向上や経営基盤の強化に迅速かつ、柔軟に取り組んでいくことが重要と考えます。

厳しい状況下ではありますが、日頃培ってきた会員相互の信頼の下、北海道のライフラインの一翼を担う者としての高い誇りと責任を自覚し、今後とも会員が一丸となって知恵を出し、力を合わせて「夢と生きがいのある電気設備工事業界」目指して諸課題に挑戦していきましょう。

年頭にあたり、会員各社の益々のご繁栄と皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げましてご挨拶といたします。

法人職務執行者就任ご挨拶



浅海電気(株)札幌支店
執行役員支店長

松澤 祥二

新春をことほぎ、会員の皆様におかれましては希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

ます。

私はこの度、昨年10月1日付けで前支店長早坂稔の後任として札幌支店長に就任致しました松澤祥二でございます。平素は当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり心より厚く御礼申し上げます。若輩ものでございますが、皆様のご指導・ご鞭撻を頂きながら協会ならびに業界の発展に尽くす所存でございますので、前任者同様よろしくお願ひ申し上げます。

当社は、大正4年に「浅海商会」として創業以来、早や97年、電気工事を主体とした総合設備業としてお客様から「安心」と「信頼」を頂くために努力してまいりました。また、札幌支店は昭和

27年に開設以来、旭川・苫小牧・函館に拠点を配し、現在に至っております。初代から数え、私で丁度10代目でございます。

私個人のことで恐縮ですが、昭和55年に入社し、当初は設計・積算課に配属されその後、長きにわたり工事畑で現場出張（広島・和歌山・浜松）等を経験しました。11年前に大阪本店営業部に配属になり、その後名古屋支店で4年半の単身生活を経験し、今回初めて北海道の地に着任しました。着任早々は、見るもの全てが新しく感動の毎日でした。今後もこの新鮮な気持ちで頑張ればと思いますが、現実の北海道を取巻く状況は「今が底だから」と上司から言われ着任しましたが、日に日に気候と同じく厳しさを実感しております。しかしながら「住めば都」「適者生存」のことわざのごとく今後、北海道の発展の為、微力ながら努力いたす所存ですので、皆様方のご指導・ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



(株)日鉄エレックス札幌支店
支店長

神谷 眞

新春の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私はこの度、昨年の10月1日付けで前札幌支店長横山正人の後任として就任いたしました神谷眞でございます。平素は、当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げますと共に、前任者同様よろしくお願ひ申しあげます。

当社は1956年の創立以来、電気、計装、制御、コンピューターシステム、通信、FAシステムに加え、機械を含めた多様な技術分野を有し、お客

様の課題に多面的なソリューションを提供できる総合エンジニアリング企業です。

北海道においては、1982年に札幌出張所を開設、現在に至っており、また室蘭支店、苫小牧営業所の営業拠点を配し活動を続けております。

私自身は、名古屋生まれの名古屋育ちで、名古屋と東京に勤務し今回の北海道勤務は初めてのことであり、日々新鮮な気持ちで過ごさせていただいております。

北海道を取り巻く経済環境は申し上げるまでもなく、先行きがまったく見えない厳しい状況が続いておりますが、前向きに取り組んで行きたいと思っております。

最後になりますが、当協会の益々の発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

「バスケットボールに賭ける飽くなき挑戦」

一般社団法人 北海道総合スポーツクラブ理事長
兼 レバンガ北海道選手 折茂 武彦氏と語る



経 歴

プロバスケットボール レバンガ北海道所属 ポジションG（ガード）

身長190cm、体重77kg

昭和45年5月4日生まれ、埼玉県出身。埼玉栄高校、日本大学卒。

平成5年～平成18年 トヨタアルバルク（トヨタ自動車）

平成19年～平成21年 レラカムイ北海道

平成22年 北海道（レラカムイ北海道、名称変更）

平成23年 レバンガ北海道

現在、一般社団法人 北海道総合スポーツクラブ理事長及びレバンガ北海道選手を兼任

取組み

昨シーズン、リーグ史上初のリーグ通算7000得点を達成。2度の世界選手権を始め数々の国際大会に出場。42歳の今もなおプレーを続ける日本バスケットボール界を代表するスーパースター選手です。平成22年には「一般社団法人北海道総合スポーツクラブ」理事長に就任。厳しいチーム経営の立て直し、そして選手としてハードな練習に日々奔走しつつ、北海道のスポーツ振興に取り組んでいます。そして、日本バスケットボール界発展への鍵となる悲願のオリンピック出場を目指し、折茂さんの挑戦はまだまだ続きます。

○日 時 平成24年11月13日(火)12時30分～13時30分

○場 所 (社)北海道電業協会

○出席者 一般社団法人北海道総合スポーツクラブ理事長

兼 レバンガ北海道選手 折茂 武彦氏

電業協会 中野副会長 橋本広報委員長 小笠原広報副委員長 伏木広報副委員長



(橋本委員長)

インタビューを円滑に進めるために、私が進行役を務めさせていただきます。まず、中野副会長より挨拶をお願いいたします。

(中野副会長)



本日は、シーズン中のお忙しい時にも関わらず、新春号の取材に快く応じていただき誠にありがとうございます。折茂さんはこれまで前例のない「レバンガ北海道」の理事長兼選手として八面六臂の活躍をされております。理事長としての運営と、選手として能力維持向上の両方の大変さを担っておられると思います。今日はそのご苦勞やそれを乗り越えられてき

た秘訣についてお伺いしたいと思います。

(折茂氏)



私は42歳になりましたが、大きなケガもなくプレーさせていただいています。長くプレーする秘訣は、「やる時はやる、やらない時はやらない」と決めていることです。今の若い選手は、一日中バスケットのことを考えているため、練習での集中力が抜けているように感じます。僕はその日の練習で、いかに自分を追い込み「上手くなりたい」と集中した練習できるかだと思っています。

(小笠原副委員長)



社団法人の経営もスポーツの世界も、チームを引っ張っていくという面では同じかと思えます。どのようなことを心がけていますか？

(折茂氏)

皆が一つに向えるよう目標をたてています。一人が文句を言い始めると最終的にはチームが崩壊しますから、選手とは必ず1対1でコミュニケーションをとります。何度でも食事に誘って、愚痴や不満を自ら言ってきた時にアドバイス等をしています。

(中野副会長)

ゲーム中に失敗をした時、転機をどのように作りますか？

(折茂氏)

ミスは取り返せないで、次に何をするかですね。トヨタ時代のコーチが言っていたのは「10本連続でシュートを外しても、その後に10本入る可能性があるのだから打ち続けろ」でした。あとは周りが「いいよ、次いこうぜ」と、前向きな言葉をかけてあげればその選手は次に向かっていきます。



集中力を高めてシュート

(小笠原副委員長)

折茂さんはバスケットボールをしたくて埼玉栄高校に入られたのですか？

(折茂氏)

私の兄が埼玉栄高校でバスケットボールをやっている、インターハイ等で活躍しており、兄の後輩の方に誘われて中学でバスケットボールを始め、兄と同じ高校に進みました。そして高校2年生の時、初めて全国大会に出場したのが北海道インターハイでした。

(橋本委員長)



北海道との縁はその時からあったのですね。関東からいらして北海道のスポーツ振興に尽力される折茂さんから見て、どういったところに北海道の魅力を感じますか？

(折茂氏)

企業に所属していた若い頃は、ファンや給料も環境も気にせず試合で結果を出せば良いという考え方でした。6年前に北海道にプロチームができた時に、最後にいろんな挑戦がしたくてこちらに来ました。

実は普段のリーグ戦ではなかなか来場者数を伸ばすことができません。それでも北海道では、チームが弱くて負け続けてもファンは観に来てくれる。入場料等が僕らのお給料になることを考えた時、本当にファンの大切さを感じました。

前チームは消滅しましたが、北海道の人達の協力や応援があって「レバンガ北海道」として存続できました。おそらく他の地域で同じ状況になっても自分が手を挙げる事はなかったでしょうし、北海道だからやる価値があるのだと思います。

北海道のバスケットボールの競技人口は、神奈川県について第2位で技術レベルも高いです。ただ、中学・高校の後に本州へ出てしまう子ども達が非常に多いので、地元でバスケットボールでの生活ができるよう、クリニック等の活動を通して親御さんにもご理解いただきながらレベルアップを図り、「レバンガ北海道」に道産子の選手を増や



スポーツ振興に貢献 子供たちとのふれあい

(伏木副委員長)

日本バスケットのプロ化構想についてお聞きしたいのですが、日本プロバスケットボールリーグ (bj) と日本バスケットボールリーグ (JBL) と分かれています。今後どのように進展すべきとお考えですか？

(折茂氏)

プロリーグがないのはアジアの中でも日本だけです。ようやく来年度、プロリーグではないのですが新組織のもとで新リーグが始まります。現在、レバンガ北海道が所属しているJBLをベースに4チーム増の12チームを予定しており、bjリーグチームからも加入する事になっています。新リーグでは各チームともユニフォームに「北海道」など地名を入れて、地域密着を図りながら2015年のプロ化を目指しています。

また、チーム数を増やせば試合数も増えますから、興行収入を得てより一層、選手の給料を払えるという良い循環もあります。

(中野副会長)

我々が「レバンガ北海道」を応援するにあたって一番望まれるのは？

(折茂氏)

やはり資金面です。「レバンガ北海道」は一般社団法人として運営しています。会員制をとっていますので会員会費収入、興行収入、スポンサー収入の三本柱でがんばっていますが、人件費、遠征費等の費用がかかりますし、専用の練習体育館も



基本はしっかり

してゆきたいですね。

(伏木副委員長)



オリンピックへの思いもあるのではないのでしょうか？

(折茂氏)

日本代表として10年以上やってきて、オリンピックに出るのが夢でしたし、オリンピックに出ればバスケットボール界は変わると信じています。サッカーもワールドカップ等のきっかけを活かして、本当にメジャーなスポーツになれたのだと思うので、今後はバスケット界全体の発展に対しても尽力していきたいです。

ありませんので大変苦勞しているところです。このご時世で難しい状況ではありますが、できるだけスポンサー収入を増やすことを目標にしております。

もう一つは、是非会場に足を運んでいただきたいのです。バスケットは、選手との距離が非常に近くて迫力があります。そしてゲーム展開の早いスポーツです。試合は1時間半もあれば終わってしまいます。目が離せない接戦となり、絶対に引き分けがありません。点数を入れる競技なので大変盛り上がりますから、一人でも多くの方に応援していただきたいと考えています。

(橋本委員長)

これからは理事長という立場で色々なことを考えてゆかねばなりませんね。

(折茂氏)

そうですね。まずはチームを存続させることです。チームの皆も気遣ってくれるのですが、同じ仲間として一緒にいる時間も長いので非常に辛いところです。でも僕自身もそうでしたが、ネガティブな発言をしたところで良い事は全くないのです。「常にポジティブな考え方で前進することが、大切になるのだ」と後輩にも説明しています。

例えば「吐く」という言葉。これを分解すると口からプラスもマイナスも吐けます。マイナスを取ると「叶」。マイナスなことを言わずに叶えていく。

いまチームの成績は非常に悪いので言い訳をすれば色々ありますが、我々は誰かの前でそういう言い訳がましい態度をとったり、愚痴を吐いたりということは絶対にありません。負けてはいてもチームとしては誇れる事だと思います。

(橋本委員長)

吐くという言葉、経営者の一人として非常に感銘いたしました。

(中野副会長)

選手兼理事長としての今後のさらなるご活躍を祈念いたしまして、本日のインタビューの感謝を申し上げたいと思います。

どうもありがとうございました。

(折茂氏)

ありがとうございました。



広報委員会メンバーと一緒に

平成24年度経営者懇談会・セミナー



平成24年11月5日(月)午後1時30分からホテルニューオータニ札幌において「平成24年度経営者懇談会・セミナー」を開催し、会員代表者など62名が参加した。

はじめに、吉川会長から最近の当業界を取り巻く経営環境について「長期化するデフレ基調による経済活動の低迷と市場の大幅な縮小、公共工事、民間工事とも減少、さらに急激な円高等により今後も厳しい状況が続くと見られる。この状況下で、技術・技能、経営力に優れた企業を目指し、経営基盤の安定化を図って欲しい」と求め、さらに「本日のセミナーでは、こうした企業が直面する課題の中で、企業の継続的發展に必要な「人材育成と組織力の強化」への対応として開催したので、本セミナーを通じて「経営基盤の強化」のツールとして役立てていただきたい」と挨拶された。

経営セミナーでは、マグロ船に学ぶ！「職場を

イキイキとさせる秘訣」と題して、ネクストスタンダード代表の齋藤正明氏を講師に招き講演いただいた。齋藤氏は、バイオ系企業の研究員としてマグロの鮮度保持剤の開発を進めるため、所長から「マグロ船に乗ってマグロのすべてを見てこい！」の一言でマグロ船に乗船。そのとき漁船という閉ざされた空間でのコミュニケーション術の素晴らしさに感銘を受け、人材コンサルタント会社を起業した。その経験から、きつい労働環境にありながら船員をうまくまとめる船長の手法が大変参考になったことを強調。具体的には「役職や年齢が上になるほど譲ってあげることが大事」「下の人間の指摘にも素直に耳を傾け、相手を傷つけるような発言を慎むことで報告しやすい雰囲気が生まれる」など、組織を元気にするノウハウをおもしろおかしく、かつ実践で使えるスキルを講演いただいた。



吉川会長 挨拶



齋藤正明 講師

平成24年度経営者懇談会



平成24年11月5日(月)経営セミナーに引き続き「平成24年度経営者懇談会」を会員代表者など62名が参加して開催された。

本懇談会については、当協会を取り巻く諸問題、協会事業に関する意見や提言を頂き、今後の協会事業に反映し、更に会員代表者相互の意見交換の場として開催している。

はじめに、吉川会長から「長引く経済活動の低迷と公共投資の大幅な減少などで、我々を取り巻く経営環境は極めて厳しくなっている。当協会としてはこのような環境下であるが、平成24年度会員大会決議事項である4項目を基本に、優秀な人材の確保と育成、地球環境保全の推進、適正かつ合理的受注、分離発注の推進等をモットーに、会員一人ひとりが大きな転換期に入っていることを認識し、技術力の更なる向上や経営改善に迅速かつ、柔軟に取り組んで行くことが重要である。本日の懇談会では、協会の健全な発展と会員皆様方の繁栄に繋がるよう活発な意見交換の場としたい」と挨拶された。

つづいて、小川専務理事の司会で議事進行とな

った。(議事次第参照のとおり)

【平成24年度経営者懇談会次第】

1. 関係官公庁との意見交換会の開催概要について
2. 平成24年度会員大会決議事項等について
3. 新公益法人への移行に向けた取り組みについて
4. 各地区協会の活動近況報告
5. 協会事業および関係官公庁に対する要望事項について(フリートーキング)

懇談会終了後は、交流会となり会員相互和やかに親睦を図った。



交流会



各地区協会からの活動報告



開会挨拶 中野副会長



閉会挨拶 山口副会長

平成24年度登録電気工事基幹技能者認定講習会



平成24年10月27日(土)～10月28日(日)の2日間、北海道電気会館において平成24年度登録電気工事基幹技能者認定講習会が開催され、全道から43名が受講した。

この講習会は、国土交通省の提唱による「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」をふまえ、(一社)日本電設工業協会が策定した「電気技能労働者育成指針」に基づき、電気工事業界における基幹技能者を認定する講習会で、合格者には平成21年度から経営事項審査のなかの技術力を評価するZ評点に、3点が認められている。

最初に当協会の小川専務理事から「電設業界が魅力と誇りのもてる産業へと発展するためには「人づくり」であり、優秀な技術者、熟練した技能者の確保と育成が重要な課題である。そこで、現場の技術者を指導・統率する役割を担う登録電気工事基幹技能者の存在が必要となってくる。基幹技能者としての役割、知識を身に付け最終日の試験には全員合格して欲しい」と挨拶された。

認定講習会は、全国一斉に行われ当協会の認定講習試験委員が講師となり、電気工事基幹技能者の役割や基礎知識など幅広い内容を講義した。受講者は資格取得に向け真剣に取り組み、メモを取りながら熱心に耳を傾けていた。

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (社)北海道電業協会専務理事
小川 孝 樹
2. 電気工事基幹技能者の在り方等
電気工事における新材料・新工法等
今野 正章 氏
(北海電気工事(株)電設工事部長代理)
3. OJT教育
澤田 博 氏
(三共電気工業(株)常務取締役工務部長)
4. 関係法規・施工管理・事務管理・工程管理
内山 優 氏
(株北弘電社技術部 担当部長)
5. 資材管理・安全管理・労務管理
吉崎 俊明 氏
(拓北電業(株)取締役営業推進部長)
6. 品質管理・環境管理
小川 恒明 氏
(協信電気工業(株)営業部長)



内山 優 講師



澤田 博 講師



開講挨拶 小川専務



今野 正章 講師



吉崎 俊明 講師



小川 恒明 講師



工場だけじゃないんだ！ 意外な魅力があふれるまち～室蘭～

室蘭市長 青山 剛



北海道の南西部に位置し、石炭の積み出しに始まり、鉄鋼業、造船、石油精製などで発展した、北海道を代表する重化学工業都市です。まち全体が海に囲まれ、せり出した絵鞆半島が作り出している天然の良港は、国の国際拠点港湾に指定されています。

港内には東日本最大のつり橋「白鳥大橋」が架かり、市内を見渡す測量山の鉄塔のライトアップとともに、まちのシンボルとして親しまれています。

【輝く光の宝石箱～工場夜景～】

最近脚光を浴びているのが、100年の歴史を持つ工場群などを中心にした工場夜景です。湾岸沿いに工場群の光が立ち並び、ライトアップされた白鳥大橋と工場群が奏でるイルミネーションは、独特な風景となっています。また、市内各所の高台から、さまざまな風景を望むことができ、山頂近くまで住宅街が広がっているため、夜景を間近に楽しめます。

平成24年11月には室蘭で、第3回全国工場夜景サミットが開かれ、神奈川県川崎市、福岡県北九

州市、三重県四日市市、山口県周南市と共に「日本五大工場夜景」都市を宣言し、室蘭の工場夜景は更なる注目を集めています。

【まちのアイドル ボルタ】

ボルトとナットを組み合わせ、はんだ付けした5cmほどの手作り人形「ボルタ」。小さな体でユーモアたっぷりのしぐさが人気を呼び、まちのアイドルとして親しまれ、「鉄のまち室蘭」を全国に発信しています。100種類以上のバリエーションあふれるさまざまなポーズがあり、手頃な大きさと価格がお土産にも大人気。平成20年には、一



般公募により「ナッティ」と名付けられた女の子版も登場。また、ボルタ工房では、製作も体験できます。

【断崖絶壁が続く景勝地、ここにあり！】



室蘭市は、工業都市としてのイメージが強いですが、初めて訪れた人は太平洋に面する海岸線を見て感嘆の声を上げます。高さ100メートル前後の断崖絶壁が約14キロメートル続く太平洋側は、地球岬に代表される風光明媚な景勝地が連なります。渡り鳥のルート上にあるこの地域は、渡り鳥を狙った絶滅危惧種のハヤブサの営巣地としても知られる自然豊かな地です。中でも「地球岬」は朝日新聞社主催の北海道の自然100選で得票第1位を獲得し、一躍全国区の知名度となりました。毎年、元旦には多くの人達が訪れる初日の出の名所でもあります。平成24年には、この地を含む4カ所が、名勝ピリカノカ「絵鞆半島外海岸」として国の文化財に指定されました。

【～室蘭三大グルメ～

こんなに美味しいものがあったの!?!】

クロソイ

噴火湾と太平洋という両海域の漁場を持つ室蘭市は、水揚げされる水産物の種類が豊富です。市の魚にも指定されているクロソイをはじめ、スケトウダラ、カレイ類、ホタテ、サケ、イカ、タコ、毛ガニ、コンブ、ウニ、ワカメなど、たくさんの水産物が水揚げされています。中でもクロソイは、地元で養殖され、お刺身や煮付けの他、中華や洋食との相性も良く、市内のたくさんのお店でも、独自のクロソイ料理をメニューにしています。

室蘭やきとり

やきとりといっても鶏肉は使いません。「豚肉・玉ねぎ・洋がらし」の3つの組み合わせが、室蘭やきとりの特徴です。市内では、やきとりを出す店の数もかなり多く、人口に対する専門店の数は全国的にもトップクラス。全国のやきとりの味を競う「やきとりオリンピック」でも優勝するなど、室蘭のやきとりは、いまや全国ブランドになりつつあります。



室蘭カレーラーメン

日本人の好きな食べ物ランキングの上位を占めるラーメンとカレーを絶妙に合わせたカレーラーメン。室蘭は、市内にある約50のラーメン店のうち、6割のお店でカレーラーメンを提供している道内一のカレーラーメン王国です。このおいしさを、札幌のみそ、函館のしお、旭川のしょうゆに続く北海道第4の味として、全道、全国に発信しようと、ラーメン店による「室蘭カレーラーメンの会」も設立され、まちおこしに一役買っています。





未来に残したい美しい丘のまち～美瑛町～

美瑛町長 浜田 哲



【美瑛町の概要】

美瑛町は、北海道内第2の都市「旭川市」とドラマ「北の国から」などで知られる「富良野市」とのほぼ中間に位置しています。面積は 677.16 km²で、東京23区の広さに匹敵し、その70%を山林、15%を農地が占めています。馬鈴薯、小麦、甜菜、豆類などの畑作を中心とする農業の町で、その農業が「丘のまちびえい」の美しい景観を作り出しています。この美しい景観を守るために、平成15年には「美瑛の美しい景観を守り育てる条例」を制定しました。また、「住み良いまち美瑛をみんなで作る条例」を制定し、住民参加によるまちづくりを進めています。

【びえいの丘】

大雪山十勝岳連峰の裾野に広がる丘陵地帯で営まれている農業の景観と、なだらかな曲線が創り出す耕作地の風景が美しい農村景観を作り出し、「丘のまちびえい」の観光資源となっています。そこには、人々の暮らしがあって、厳しい自然と



美しいびえいの丘

の戦いと、年月をかけて創られてきた美しい景観が人々の暮らしと共に息づいています。近年は、滞在型や交流型の観光を推進し、観光産業と農業が連携した地域づくりを行なっています。

【美瑛軟石】

美瑛軟石は、明治39年から昭和44年ごろまで採掘が行われ、建築資材や土木資材として広く使用されていました。石質は、大雪山連峰の噴火によ

る火砕流の堆積による物で、流紋岩質凝灰岩と呼ばれ石英が肉眼で見えるのが特徴です。美瑛軟石造りの美瑛駅舎は、昭和63年に改修され、石造りの独特の雰囲気は、美瑛町観光ポイントの一つになっています。ふるさとの駅100選にも選ばれました。また、平成元年から着工した本通土地区画整理事業では、地元の建築協定により建物正面の腰に美瑛軟石などが使用されており「丘のまちびえい」の特色ある街並みとなっています。



美瑛軟石で造られているJR美瑛駅舎

【白金温泉】

北海道の中央に壮大な景観をもって広がる大雪山連邦。その中に日本100名山のひとつ十勝岳が雄大にそびえ、山麓には豊かな自然と雄大な展望、良質な泉質を誇る白金温泉温泉が、多くの観光客等で賑わいを見せています。



紅葉の白金温泉

【ヘルシーマラソン】

雄大な十勝岳連峰を背景に「丘のまちびえい」の美しい丘陵地帯を舞台に走る「ヘルシーマラソン」が平成元年より開催しています。大会には5,000人以上の市民ランナーが参加。また、元ロサンゼルスオリンピック代表でスポーツライターとしてもご活躍中の増田明美さんが毎年特別ゲストとして参加します。ハーフコース、クォーターコースともに美瑛の美しさを満喫できる自慢のコースです。



新緑の白樺街道を舞台に

【宮様国際スキーマラソン】

国際スキー連盟（FIS）・全日本スキー連盟（SAJ）公認のスキーマラソン大会。国内外のクロスカントリースキーと歩くスキーの愛好家1,000人以上が集い、十勝岳山麓の白樺林と丘陵地帯で、冬の体力づくりと交歓を図ることを目的とし毎年2月に開催しています。



伝統ある冬のイベント

平成24年度「公共建築の日」イベント

「公共建築の日」フェスティバル2012 in モエレ



このイベントは、北海道開発局が主催し北海道、札幌市、当協会など、自治体や各種団体が後援するもので、生活に密接に関わっている公共建築が果たしている役割などを、子供から大人まで幅広い市民層を対象に、各種イベントを複合的に開催する事で、公共建築に理解と関心を持ってもらう事を目的として毎年開催されています。

当協会では4名のスタッフが、10月13日(土)に開催された「ものづくり体験コーナー」に参加しました。このコーナーは、コンセントの延長コード作りと、電線を使って昆虫等を自由に作ってもらい、持ち帰ってもらう事で、子供たちに建築設備に少しでも興味をもってもらうことを目的に実施しています。



【開催日時】 平成24年10月13日(土)
～ 10月14日(日)

【場 所】 札幌市東区モエレ沼公園
ガラスのピラミッド内

【イベント内容】

1. ダンボールシティ
2. ものづくり体験・作って見よう
3. パネル展
4. 公共建築フォトコンテスト
こども絵画展・ポスターコンテスト
5. コンサート

【参加スタッフ】

(株)北弘電社 内川 勝哉
〃 十日市 樹
北海電気工事(株) 浜村 慎太郎
〃 佐藤 雅紀

【イベントに参加して】

ものづくり体験で、子供たちがご両親と一緒に慣れない手つきで、一生懸命に取り組んでいる姿は、気持ちの良いものでした。この体験で、ものづくりの楽しさを感じてもらえればと思っています。

北海電気工事(株) 浜村 慎太郎

安全衛生パトロール実施報告



平成24年11月8日(木)技術安全委員会委員による安全衛生パトロールを実施した。

今回の現場は、札幌市西区琴似4条2丁目で新築工事中の分譲マンション。

当協会の会議室に関係者が集合。はじめに澤田技術安全副委員長から「我々の業界は厳しい状況が続いているが、安全対策にはあらゆる状況を想定して取り組んで欲しい」と挨拶された。続いて事務局から、安全パトロール点検表に基づき、点検担当者を決定後現場へ向かった。現場事務所で、(株)きんでの福澤一現場代理人から、工事の概要説明を受けた後「点検前ミーティング」を行い工事現場へ向かった。

パトロール現場の主要構造はSRC造り、延床面積44,503㎡、地下1階、地上40階で総戸数263戸、建物の最高高さ128.2m、受電電圧6,600V、設備容量は1,845kVAで業務用電力の一括契約となっていて、平成23年7月に着工して平成25年10

月完成予定で進められている。

当日は、コンクリート打設立合いと配線作業が行われていた。

パトロールは最初に作業用エレベーターで36階まで登り配線作業を点検。次に25階まで階段で移動して電気室内を、つづいて12階にあるモデルルームを点検して順次1階まで移動しながら見て、最後に外回りの掲示板やゴミ等の整理、分別状況を点検して終了した。

終了後、福澤現場代理人は「これから厳しい季節になること、さらに設備関係の業者が輻輳してくるので、完成まで無事故・無災害で乗り切るように全員で協力して頑張る」と力強く語った。

午後から協会会議室において「安全パトロール点検表」のチェック項目の整理を行い個別総評が行われた。内容は、概ね良好であると評価し、最後に澤田副委員長から「現場の中はきちんと整理されており、全体的に良好であった。特に、フロアマスター制度の導入等、高層ビルに対応した安全管理が徹底されていた。あとは、来年10月の完成まで安全には万全を期して取り組んで欲しい」と総評された。

【実施メンバー】

技術安全副委員長	澤田 博	(三共電気工業)
委員	太田 英男	(末廣屋電機)
〃	今野 正章	(北海電気工事)
〃	小川 恒明	(協信電気工業)
〃	内山 優	(北弘電社)
	枝並 秀喜	(電業協会)



現場からこんにちは



工事名称：札幌中央卸売市場北側太陽光発電設備
設置工事

工事場所：札幌市中央区北12条西20丁目

工 期：平成24年3月27日

～平成25年3月29日

発注者：札幌市

施工業者：三共電気工業株式会社

【工事概要】

- ・太陽光発電設備…北側130kW・南側197kW（計327kW）
- ・データ伝送装置…1式
- ・配管配線…1式

札幌中央卸売市場は札幌市民の食材流通の中核で、地球環境と衛生のために全国でも類例の無い設備・システムを導入しております。毎日多くの場内運搬車が稼働していますが、そのすべてを天然ガス仕様に変更。さらに保冷車については、電源供給式アイドリングストップ給電スタンドを採用するなど、市場を取り巻く環境の改善、市場関係者の健康保持、CO₂削減等取り組む我が国で最高のエコ・クリーンシステムを誇る市場であります。今回取材をさせていただきましたのは、そのような活動の一環として今回設置される、太陽光発電設備設置工事現場において監理技術者を努めます三共電気工業(株)松岡武夫さんにお話しを伺

いしました。

【施工の特徴】

当該発電システムの電力を災害時には非常用電源として供給可能なシステムとし、自立コンセント盤の設置や地下受水槽からのポンプアップの動力源にするなど、災害に強い施設づくりを目指しております。

【施工の安全について】

施工場所であるセンターヤード屋上においては、既存建物を損傷することのないように、床養生をおこない運搬通路・資材置場・作業通路を確保するとともに、飛散防止対策を十分検討して作業にあたっております。尚、市場運営に支障を及ぼす恐れのある作業は、市場の休日に組み込み、さらなる安全作業を目指して、作業を進めてまいります。

【現状の進捗状況】

10月末での太陽光モジュール設置状況は、全体枚数（1,568枚）の約45%（712枚）が設置されており、12月中旬にて設置が完了する予定となっております。取材の最後に松岡さんから「今後も作業の安全には万全を期して完成まで施工を進めてまいります」と力強い言葉を頂き現場を後にいたしました。

取材 広報委員 鈴木 嵩典、大塚 雅史



三共電気工業株式会社 工務部
工事長 松岡 武夫さん

分離発注訪問記

今年も(社)北海道電業協会の事業活動の1つである「分離発注の推進」活動が各地区電業協会と経営委員会が協力、分担して道内の各自治体に対して行われます。北海道における状況は全道179市町村のうち174市町村において分離発注が実施されており全国的にも高い発注率になっています。当協会では経営委員会の分離発注担当委員が担当地区を決めて下記の内容で訪問活動を実施いたしました。

- ・日高振興局管内を11月10日～11日
渡辺広史委員（東光電気工事(株)）と内川勝哉委員（(株)北弘電社）と中村衛苦小牧電業協会会長
- ・空知総合振興局管内を11月22日、24日
猪股浩徳委員（末廣屋電機(株)）
- ・石狩振興局管内を11月21日
三上勝哉委員（北電力設備工事(株)）と国井雅和委員（(株)関電工北海道支店）

私は、毎年日高振興局管内を受け持ち、今年も訪問して参りました。この「分離発注の推進」活動を毎年実施している良好な関係もあり、訪問先の各自治体窓口の皆様には、快く対応していただき本当にありがとうございました。深く感謝申し

上げます。

日高振興局管内7町の内、原則一括発注を行っている自治体が2町あります。そこで、今回はその中の1町、様似町に対して同町出身である苦小牧電業協会の中村衛会長（(株)中村電気社長）に同行をお願いし、木下副町長に面談させていただきました。今回会報に投稿するにあたり、事情をお話ししたところ撮影も含め会報掲載に快諾していただきました。

懇談の席では「今後の発注予定工事」や「予算について」等のお話をお聞きすることができ、その中で「来年度は町として十数年ぶりの大型工事の発注の予定があり、現在分離発注も検討している」とのお話を頂き、再度、分離発注のお願いをし、好感触を得て様似町を後にしました。

今回の訪問で各自治体の生の声をお聞きできた事や、分離発注に対する温かいご理解を感じる事ができ、今後もこの「分離発注の推進」活動を継続して行くことがいかに大切であるかを痛感いたしました。

記 東光電気工事(株) 渡辺 広史



様似町副町長室において木下好和副町長（右）にお願いの文書を手渡す苦小牧電業協会 中村 衛 会長

厚生委員会行事報告



歌唱部会幹事

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には常日頃から歌唱部会の活動に多大なるご理解とご協力を賜っておりますことを心から厚く御礼申し上げます。

月日の経つのも早いものであつと言う間に1年が過ぎてしまいました。

部会は例年4回開催しており、既に第3回まで開催されました。4回目は2月に開催予定です。皆様の参加をお待ちしております。

毎回20名程度の参加者で開催しておりました歌唱部会でしたが、今年度は20名を下回るときも有り少々寂しさを感じております。

コミュニケーション不足と言われる昨今、せめてカラオケで日頃の憂さを晴らし、酒を酌み交し懇親を深めたいものです。

17時からの2時間はアツと言う間に過ぎてしま

います。会費は3000円程度で、食事は軽食程度ですが、美味しい酒は何でも有です。

歌唱部会のメンバーの中にはプロ顔負けの歌唱力ある方、物真似の出来る方、パフォーマンスの出来る方がおります。歌われる曲も、演歌、ポップス、フォーク、ロックと色々です。

まだ歌唱部会に参加されたことが無い方、話をするだけでも良いので是非一度参加して下さい。

今後とも、楽しい会を継続するため努力して行きます。会員皆様方のご協力お願い申し上げます。

歌唱部会幹事 佐久間忠信（北明電気工業株）



ボウリング部会



第3回大会スタート前

第3回ボウリング部会報告

新年あけましておめでとうございます。

平素は当部会の活動に、ご協力を頂きありがとうございます。

さて、平成24年度の最後を締めくくる第3回ボウリング大会が10月12日ディノスノルベサにおいて、総勢22名の参加を頂き、いつもながらの盛大で、多少うるさいですがとても楽しいひとときを過ごさせていただきました。

参加者の大半は、若手営業マンで若さと熱気で、とても不景気とは感じさせない元気はつらつな会です。

今回は本来の実力を発揮した北海電気工事の藤井貴史さんが優勝し、久しぶりにボウリングの上

手なかに幸運の女神が微笑んでくれたようです。準優勝は北弘電社の内川勝哉さんでハイゲーム賞も取られレベルの高い優勝争いでした。恒例になっております、優勝者、その他の挨拶も行われ、表彰者は大変盛りあがりました。

年に3回の会ですが、関場部会長を中心として、若い参加者の多いボウリング部会です。

今後も、たくさんの皆様の参加により親睦を深めて、楽しいボウリング部会にしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

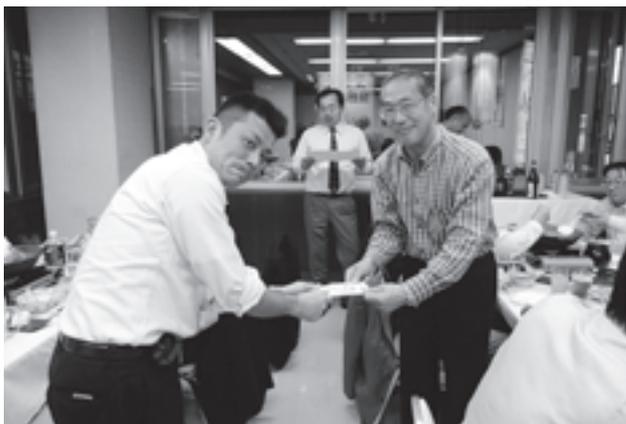
ボウリング部会幹事 小原木 正弘(弘和電気株)

平成24年度第3回

北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成24年10月12日開催

順位	氏名	1G	2G	IGハンド	トータル	会社名
優	藤井 貴史	178	169	14	375	北海電気工事
準	内川 勝哉	182	159	12	365	北弘電社
1	福田 哲也	111	164	32	339	大成電気
2	池内 宏行	97	115	62	336	北明電気工業
3	菅井 末行	159	134	21	335	旭日電気工業
4	稲津 亘	143	171	8	330	北盛電設
5	内田 勝久	114	109	48	319	北海電気工事
6	木村 賢史	132	120	32	316	北海道タツワ電気
7	清水 希与志	76	123	58	315	北明電気工業
8	十日市 樹	108	155	25	313	北弘電社
9	畑 澄人	128	111	37	313	北海道タツワ電気
10	小原木 正弘	142	130	17	306	弘和電気
(ハイゲーム賞) 182ピン		内川 勝哉		北弘電社		
(ラッキー賞 9位)		清水希与志		北明電気工業		
(ブービー賞)		信田 秀一		末広屋電機		
(ブービーメーカー賞)		伊藤 寿教		三共電気工業		



第3回優勝者 藤井さん

ゴルフ部会

新年明けましておめでとうございます。平素より会員の皆様に於かれましてはゴルフ部会の活動にご理解とご

協力を賜りまして誠にありがとうございます。3年前より当部会の幹事を拝命し、豊部会長始め諸先輩方の下、今後も鋭意幹事業務に努めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

さて、昨年は第1回大会の札幌国際CC（島松）、第2回大会札幌南CC、第3回大会札幌エルムCCまで順調に開催させていただきましたが、残念ながら第4回大会の札幌芙蓉CCでは当日の朝に雨天のため開催中止が決定し、参加予定の皆様にはご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。その代わりとして今年は通常より1回多い5回の大会を開催する予定でありますので多数の皆様の参加を心よりお待ちしております。

ここで、少々ゴルフ雑学を。ゴルフを1ラウンドまわると歩数はおよそ10,000歩から18,000歩で、平均消費カロリーは1,000kcal程度だそうです。緑の中を歩くということも心身ともに良いことなのではないでしょうか。また、練習場で1スイングに使うエネルギーはドライバーで1.19kcal、5番アイアンで1.11kcalということなので100球打つと110kcal程度消費されます。通常のウォーキングで10,000歩あるくと300kcalの消費ということなので250球から300球打つと10,000歩あ



表彰式の様子

るくこととほぼ同等のカロリー消費量になります。つまり、ゴルフは只の遊びではなく、歴とした運動であります。北海道はこれから約4ヶ月間ラウンドできないため、うずうずしている方も大勢いらっしゃると思いますが、是非冬場の運動不足解消に練習場でカロリーを消費し、今春からのゴルフシーズンに備えてもらえればと思います。私自身も今年はスコアに一喜一憂することなく、皆様と一緒に笑顔で『一万歩の森林浴』を楽しむことができれば幸いと存じております。どうぞ今年もゴルフ部会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ゴルフ部会幹事 稲津 亘（北盛電設株）

【昨年の優勝者ご紹介】



第1回札幌国際
木村賢史さん
(タツマ電気)



第2回札幌南CC
平野清治さん
(札幌日信)



第3回札幌エルム
荒川正一さん
(札幌日信)

～シリーズ～ 「私のいちおし」

東邦電気工業(株)北海道支店

営業Gマネージャー 和田 隆 幸

札幌市中央区 西線14条電停より徒歩1分『元祖 中国風居酒屋へんみ』さんを、紹介致します。

この地に店を構え28年、ご主人の逸見春男さん、奥さんの恵子さん、息子さんの孝さんの3人で商いをしております。風向きによっては、電車通りまでニンニクの匂いが漂い、歩きながらパワーが湧いてくるような気をさせてくれる庶民的なお店です。



住宅街の一角にあり1階は魚屋さんです。

入口横には、中華鍋・フライパン・しゃもじがぶら下がり2階へと向かう階段に沿って斜めにかけた看板。『アッ』と気が付いた方もいるのではな



入り口の使い込んだ中華鍋が目を引きま

いでしょうか。店内には中国の写真などにぎやかな異国情緒漂うもので飾られています。

メニューは100品以上の料理そして飲み物はおなじみの紹興酒・青島ビールからへび酒など珍しい物がたくさんあります。

料理の中でも、パリットとしたへんみ秘伝の味付春巻きは『私のいちおし』です。他にも回鍋肉・あんかけ焼きそばなどがあり沢山のお奨めがあります。特色は、ニンニクのパンチの効いた味はもちろんのこと、一人前で三人は食べられるボリュームにもビックリです。また、昔からこだわりの青森産ニンニクは、ご主人の郷里の特産であり、メニューに書かれたプロフィールにも注目です。

平日は、仕事帰りの仲間と酒を片手に1杯、特に土日祭日は、お子様づれの家族や、味とボリュームに魅了された大勢のリピーターでにぎわい、他にはない気楽な雰囲気が楽しめます。

一度行ってみては、如何でしょうか。



左中央の逸見春男さんと両隣の恵子さん孝さん
いちおしの料理を前に満足な様子

◎『元祖 中国風居酒屋へんみ』

住 所 札幌市中央区南14条西15丁目

電 話 011-563-2565

営業時間 平日、日・祝日 17時～24時

定休日 月曜日（祝日の場合は火曜日）

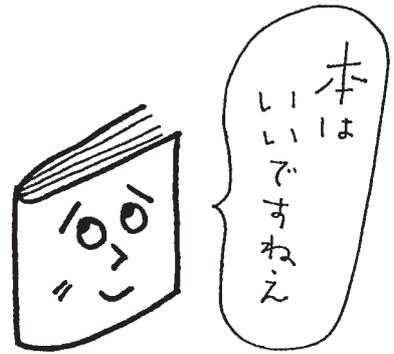
次回の『私のいちおし』は

島津電設(株)

代表取締役社長 嶋津 博さん



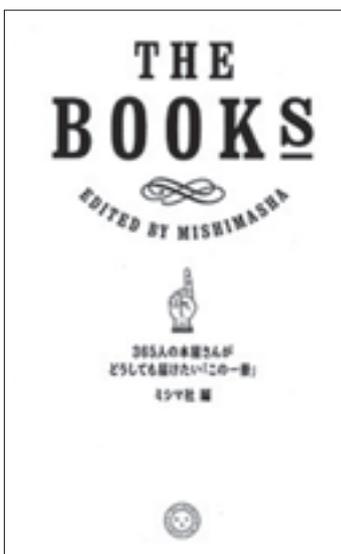
ビジネスマンは これを読め！



(株)久住書房 社長 久住邦晴

「なぜだ?!売れない文庫本」をはじめ、全国の書店に波及した「本屋のオヤジのおせっかい、中学生はこれを読め！」など独創的な企画で注目を集める、くすみ書房社長の久住邦晴氏（北海道書店商業組合理事長）おすすめの一冊をご紹介します。

「THE BOOKS」



—365人の本屋さんがどうしても届けたい「この一冊」

出版社：ミシマ社
定価：1,575円

あけましておめでとうございます。

今年もよろしくお願ひ致します。

さて、皆様は読書をなさっていますか。

「最近の若者は本を読まなくなった」といつの世も言われてきましたし、今でもよく聞きますが、実は今の子どもたちは以前より本を読むようになっていきます。学校で毎朝10分、全員が読書する「朝読」のおかげです。

ある中学校のアンケートを見ますと、「読書はキ

ライ」という女子はほとんどいません。男子は若干名いますが、これはもうしょうがありません。スポーツの方がいいという時期なんですね。

大きな声では言いづらいですが、今、一番本を読まないのは30代～50代の男性です。それもあたり前で、仕事に全力を挙げている時に、まったく関係のない小説は、なかなか読めません。

でもそうは言っても私の立場では、やはり読んで欲しいわけです。読書は「人間の総合力を高める」と信じていますし、混沌として先の読めない時代だからこそ読書は必要だと思っています。

さて、人の興味は様々です。すべての人に面白い本というのはまずありません。そこで役に立つのが「THE BOOKS」です。

全国の熱意のある書店とだけ取引しているミシマ社という出版社が、特に厳選した365の書店の目利きたちの、心からオススメする365冊をこの本で紹介しています。

古今東西の小説からノンフィクション、歴史、哲学、ビジネス書とジャンルは様々ですが、どの本も「この本だけはどうしても届けたい」という熱い思いで選ばれた本ばかりです。

北海道からは11書店が登場です。当店からは「死にゆく者からの言葉」を紹介しています。特にご年配の方にオススメです、とても喜ばれる1冊です。

今年はこの本を片手に、素晴らしい本の世界にお出かけください。

業界だより

○法人職務執行者の変更

・浅海電気(株)札幌支店

平成24年10月1日付

(新) 執行役員支店長 松澤 祥二

(旧) 取締役支店長 早坂 稔

・(株)日鉄エレクトックス札幌支店

平成24年10月1日付

(新) 支店長 神谷 眞

(旧) 〃 横山 正人

○住所変更

平成24年12月17日付

・旭日電気工業(株)

(新住所・電話番号)

063-0809

札幌市白石区菊水9条1丁目5-4

電話 011-811-1215

FAX 011-811-1217

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

以上概要を報告 (小川専務理事)

◇平成24年10月25日(木) 12:00~13:30

第4回議題

【協議事項】

1. 役員の選任対応(案)について
2. 常設委員会委員の選任対応(案)について
3. 平成24年度経営者懇談会・経営セミナーの開催要領(案)について

以上提案どおり承認された

【報告事項】

1. 会社代表者、法人職務執行者等の変更について
2. 一般社団法人への移行認可申請に係る経過報告について
3. 平成24年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催について
4. 開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会の概要報告について
5. 平成24年度会員大会の開催概要について
6. 平成24年度北海道赤レンガ建築賞1次審査の結果について
7. 平成24年10月~11月行事予定について
8. その他意見交換

◇平成24年12月4日(火) 16:30~17:30

場 所 ホテルニューオータニイン札幌

第5回議題

【協議事項】

1. 今後総会までのスケジュールについて
2. 常設委員会委員の選任対応(案)について
3. 平成24年度中間経理報告について
4. 新公益法人への移行に向けた取り組み(案)

以上提案どおり承認された

【報告事項】

1. 平成25年電気関係賀詞交歓会について
2. 平成24年度安全パトロールの実施結果について
3. 北海道赤レンガ建築賞第2回実行委員会の開催について
4. 会員代表者、法人職務執行者の変更
5. 平成24年12月~平成25年1月行事予定
6. その他意見交換

以上概要を報告 (小川専務理事)

|| 三 役 会

◇平成24年10月9日(火) 12:00~13:30

第7回議題

1. 役員の選任対応(案)
2. 常設委員会委員の選任対応(案)
3. 平成24年度経営者懇談会・経営セミナーの開催要領(案)
4. 一般社団法人への移行認可申請に係る経過報告と今後のスケジュール
5. 平成24年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催
6. 会社代表者、法人職務執行者等の変更について
7. 開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会の概要報告
8. 平成24年度北海道赤レンガ建築賞1次審査の結果について
9. 平成24年10月~11月予定
10. その他意見交換

◇平成24年11月5日(月) 12:00~13:30

第8回議題

1. 平成24年度経営者懇談会・セミナー
2. 平成24年度中間経理報告
3. 平成24年度安全パトロールの実施
4. 平成25年電気関係賀詞交歓会の開催
5. 平成24年度登録電気工事基幹技能者認定講習会開催結果報告
6. 「入札手続きに関する説明会」の開催
(主催：札幌開発建設部)
7. 社会保険未加入対策推進北海道地方協議会第2回WGの開催
8. 平成24年11月~12月行事予定
9. その他意見交換

◇平成24年12月4日(火) 15:30~16:30

場 所 ホテルニューオータニイン札幌

第9回議題

1. 今後総会までのスケジュール
2. 常設委員会委員の選任対応(案)
3. 平成24年度中間経理報告
4. 新公益法人への移行に向けた取り組み
5. 本部理事会及び本部政策委員会開催概要
6. 平成24年度経営者懇談会・経営セミナーの開催概要
7. 平成25年度登録電気工事基幹技能者専門委員会の開催
8. 平成24年電気関係賀詞交歓会
9. 平成24年度安全パトロールの実施
10. 北海道赤レンガ建築賞第2回実行委員会の開催
11. 会員代表者、法人職務執行者の変更
12. 平成24年11月~12月行事予定
13. その他意見交換

総務委員会

◇平成24年12月13日(木) 15:30~17:00

第3回議題

1. 今後総会までのスケジュール
2. 平成24年度中間経理報告
3. 人材育成助成制度等の説明会
4. 本部政策委員会開催概要
5. 平成24年度経営者懇談会・経営セミナーの開催概要
6. 平成25年電気関係賀詞交歓会
7. 平成24年度登録電気工事基幹技能者認定講習会開催結果
8. 平成24年度安全パトロールの実施
9. 「電設技術」へ年賀広告提供のお願い
10. 平成24年度登録電気工事基幹技能者専門委員会の開催
11. 北海道赤レンガ建築賞第2回実行委員会の開催
12. 適正な財産運用の厳守
13. 平成24年度全道組合員名簿への広告掲載のお願い
14. その他意見交換

経営委員会

◇平成24年12月17日(月) 16:00~17:00

第4回議題 (議長:水口副委員長)

1. 第3回議事録(案)の承認
2. 電設協第246回、247回政策委員会の開催概要
3. 平成24年度会員大会決議
4. 平成25年度電気関係賀詞交換会
5. その他意見交換

広報委員会

◇平成24年11月13日(火) 11:30~13:30

1. 会報冬号「新春特集」打ち合わせ
2. 会報「冬号」への編集日程
3. 会報冬号「新春特集」インタビュー
レバンガ北海道選手兼チーム理事長
折茂 武彦 氏

◇平成24年11月27日(火) 13:30~15:00

1. 会報冬号「新春特集」インタビューの校正作業

◇平成24年12月11日(火) 15:00~17:00

第3回議題

1. 会報「春号」編集方針
2. 会報「冬号」校正
3. 新春特集
4. その他意見交換

技術安全委員会

◇平成24年12月14日(金) 16:00~17:00

第3回議題

1. 実施報告
・平成24年度登録電気工事基幹技能者認定講習会
・平成24年度経営者懇談会開催概要
・平成24年度安全パトロール
2. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の開催概要
3. 技術講習会の開催
4. 会員対象の現場見学会の開催
5. その他意見交換

事務局日誌

10月5日(金)・野球部会、営業マンソフト
(リゾート札幌)

9日(火)・第7回三役会議

10日(水)・第2回総務委員会

11日(木)・第2回技術安全委員会

12日(金)・第3回ボウリング大会

13日(土)・公共建築の日イベント
(モエレ沼公園)

18日(木)・平成24年度会員大会
(鹿児島市)

25日(木)・第4回理事会、常議員会

27日(土)・登録電気工事基幹技能者

～28日(日) 認定講習会 (電気会館)

11月5日(月)・第8回三役会議
・経営者懇談会・セミナー
・懇親会
(ホテルニューオータニイン札幌)

8日(木)・安全パトロール

13日(火)・広報委員会
新春インタビュー

16日(金)・本部政策委員会(東京)
山口副会長

19日(月)・北海道赤レンガ建築賞
第2回実行委員会
小川専務理事

22日(木)・本部常任理事会(東京)
・本部運営委員会(東京)
吉川支部長

27日(火)・入札手続きに関する説明会
主催：札幌開発建設部
小川専務理事

28日(水)・社会保険未加入対策推進協議会第2
回WG
小川専務理事

12月4日(火)・第9回三役会議
・第5回理事会、常議員会
・懇親会
(ホテルニューオータニイン札幌)

・登録電気工事基幹技能者
専門委員会(東京)

枝並事務局長

11日(火)・第3回広報委員会

12日(水)・本部政策委員会(東京)
山口副会長

13日(木)・第3回総務委員会

14日(金)・第3回技術安全委員会
・本部運営委員会(東京)
吉川支部長

17日(月)・第4回経営委員会

27日(木)・会報冬号、発送・配布

28日(金)・御用納め

編集後記

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には良き年でありますことを祈念申し上げます。

この度は、北海道開発局営繕部長 内野井宗哉様にご挨拶をいただき、ありがとうございました。官庁施設の適正な機能・性能を図るため、引き続きご指導・ご鞭撻をお願いする次第です。

さて私事ですが、11月中旬、JR北海道山岳部発足25周年記念事業の一環として、台湾の玉山（旧新高山）3,952mを登ってまいりました。（太平洋戦争、真珠湾攻撃の際、大本営が機動部隊に発した命令電文が『ニイタカヤマノボレ1208』でありました）山頂は雨、気温は1℃程度で、4000m近くなりますと、やはり酸素が若干少なくなります。高山病？を呈した隊員もおりましたが、全員無事下山しました。但し、天候が芳しくなく東峰（3,940m）、北峰（3,920m）の登頂は断念しました。

KY：空気が読めないという略号も流行りましたが、今回はKS？空気が少ない、更に芳しくない天候下での隊長の判断であったと思います。“挑戦する勇気”と“やめる勇気”の意義にあらためて感じ入りました。

年末の総選挙（4日告示、16日投票）の結果をみる以前に、この編集後記を書かせていただいているわけですが、いずれにしろ、新政権は世界の空気を読み、日本国の国益確保に邁進して欲しいものです。

広報副委員長 小笠原 憲生



後ろが玉山主峰



発行 平成25年1月
社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp